グラフ32回総会◎2面
PLAZA UEDA◎3面
年会費納入者◎4面

うえだ
上田高等学校関東同窓会・会報
第50号
12月19日
（日曜日）
平成5年
（1993年）
＝年2回刊＝
―発行―
上田高等学校
関東同窓会事務局
―発行人―
会長　山崎　延秋（48）
〒176　東京都練馬区
向山4―19―2
TEL　03（3999）0716
編集人　小林　秀芳（60）
題字は故稲垣征夫氏（14）

幹事長決定で 新体制、本格スタート

49期から荻原賢氏

大石、小口の両氏も執行部入り

懸案の幹事長に、49期の荻原賢（まさる）氏が決まった。これで新役員人事はすべて固まり、関東同窓会は山崎新会長のもと、新しい時代に向けて本格的なスタートを切ることになった。新幹事長は、軽井沢町出身で横浜市在住。温厚篤実、責任感に溢れた人柄で、同期生の信頼もあつい。新幹事長を迎えての初の幹事会は、来年二月十九日、健保会館で開かれる。

第32回関東同窓会総会（懇親会）。中央、あいさつするのは山崎会長

期をあげて バックアップ

荻原幹事長は、49期をあげての支援・協力があって誕生した。詳しい経緯は省くが、「山崎会長を送りだした48期、通称、花のヨンパチ組にくらべ、自分たちはこれまであまり同窓会活動に尽力してこなかった。幹事長の人選で困っているようなら、ここらで一つ、われらの期が協力しょうではないか」、ということから荻原氏の選出となったものである。

荻原幹事長を実現するに際して、49期の幹事会はさらに大石和夫、小口（旧姓・池田）芳彦の両氏を副幹事長として〝入閣〟させ、幹事長の補佐役に当たらせることにした。

これにより、副幹事長は既に就任済みの武田直樹（60期）、岩井重一（62期）の2氏を加えて4人になった（＝別掲、役員一覧参照。幹事長代行・池内氏は業務多忙のため、代行退任）。

新幹事長を迎えての初の幹事会は、明年二月十九日（土）に、新年会をかねて東京青山の健保会館で開かれる予定だ。

32回総会に 約二五〇名

七月九日の32回総会には24期の石井先輩から、91期の新卒の諸君まで、約二〇〇名の会員が元気な顔を見せ、旧交を温めたり、同級・同期生の消息についての情報交換につとめた。

懇親パーティーに先立つ総会では、会長以下新役員の紹介が行われ、これにより山崎新体制が正式スタートをきった（2面にグラフと記事）。

本部総会でも〝お披露目〟

九月十八日、上田市の農協会館で開かれた本部の総会（会員大会）には、矢島五郎相談役、会長、副会長、53期生有志など、関東同窓会から十数名の会員が出席、在郷同窓生との交流を深めてきた。

総会では、山崎会長が関東同窓会を代表してあいさつに立ち、小木曽、甕、池田、の3副会長を紹介するとともに、相変わらずの協力・支援を訴えた。

関東同窓会
新役員一覧
相談役　島田　二郎21
〃　大森　頼雄23
〃　馬場　長市25
〃　坂井　実雄28
〃　矢島　五郎31
〃　神野　勝男36
〃　小林　郷司40
〃　横山誠之助42
〃　柳澤　廣44―5
監査役　原嶋佐吉44―5
〃　堀内茂雄44―4
会長　山崎　延秋48
副会長　小木曽　誠48
〃　甕　滋50
〃　池田　松子52
幹事長　荻原　賢49
副幹事長　大石　和夫49
〃　小口　芳彦49
〃　武田　直樹60
〃　岩井　重一62
会計長　高木　快雄53
企画委員長　馬場武彦54
会報編集長　小林秀芳60

露払い、手足の労で

幹事長　荻原　賢（49期）

幹事長の重責を、わが49期で引き受けることとなりました。

適任者が大勢いる中で、私がその任に当たり、同期全員の支援を頂いて全力投球するつもりです。

もとより私は幹事長の器ではありませんが、大石・小口（旧姓池田）両君が、副幹事長として一緒にやって下さるので、お引き受けすることとしました。

経緯はともあれ、その責任は負わなければなりません。会長の露払い役として、会の意をよく体して、より多くの会員の積極的参加が得られますよう手足の労で、皆さまの期待にこたえたいと思います。

会員の皆々様のご支援を頂きたく、お願いします。

さらなる発展へ いっそうのご協力を

会長　山崎延秋（48期）

変動の激しい世相の中で年の瀬を迎えましたが、会員の皆様にはそれぞれご活躍の事と存じます。

会務の運営に必要な幹事長は四十九期の諸君の協力を得て荻原賢君に決定いたしました。五十六期の池内紀雄幹事長代行には継承者が決りましたので、ご無理をお願い致しました事をお詫びし、ご本人の希望通り退任して頂きました。

来るべき新年も経済の景気回復がむづかしい状態が続く様子ですが、前記の通り役員人事も整ってスタートしますので会員の皆様のご期待に添うよう専念いたします。

会報〝うえだ〟は今回で第50号を迎えました。昭和44年5月の創刊から25年間となります。その間、幾多の会員たちの手によって会報が育くまれて参りました。そして同窓会の発展には計り知れない程、寄与いたしました。ご寄稿を頂いておりますが、浅野恭平（37期）、清水幾男（38期）両先輩には編集長としてご苦労をお願い致しました。

この機会に会報を再認識して更に発展の糧としたいは関東支部の誕生とともに呱々の産声をあげて四半世紀、今後は、100号を目指して会員とともに歩むことになる。引き続きの愛読ご支援をお願いしておきたい（2面に関連記事）。

記念すべき50号

本紙は、この号で記念すべき第50号を迎えた。二十数年前、関東同窓会（当時は関東支部）の誕生とともに呱々の産声をあげて四半世紀、今後は、100号を目指して会員とともに歩むことになる。引き続きの愛読ご支援をお願いしておきたい（2面に関連記事）。

祝　うえだ　第50号
上田高等学校関東同窓会・会報
50期有志
五十嵐明迪／甕　滋／西野　明／井出藤寿／児玉忠雄

会報フォーラムを再開

本部総会、同窓連など、〝あいさつ廻り〟も活発に

七月の総会のあと、正式スタートした山崎新体制は九月の本部総会(会員大会)を手始めに、長野県同窓連の「ふるさと交流の集い」(九月、松本勤労者福祉センター)、野沢南高校同窓会東京支部総会(十一月、東京ガーデンパレス)、上田千曲高校同窓会関東支部総会(同、青山健保会館)などに、会長以下副会長、幹事長を派遣、活発な〝顔見せ外交〟を展開した。いうまでもなく、山崎新体制発足のあいさつ廻りのためである。会は、この〝訪問外交〟が一段落した時点で、次のステップに入る。

広告、編集に
支援・協力を

会報の新しいあり方を考える会報フォーラムも、久しぶりに開催された(十月三十日、飯田橋「ルコー」)。

フォーラムでは、会の伝統と従来の編集方針を大筋において継承しつつ、新味を出していくことで意見が一致した。

幹事長を選出した
49期からの報告

なんといっても、四九期には、関東において中核として松尾二六会がある。正式に発足したのは、平成四年の上田関東四九期同期会において会則が成立してからとなるが、当時上田松尾高校を昭和二六年に卒業した有志による同期会で、親睦を旨とし、還暦を迎え第二の人生のスタートとして意味があろうかと思う。もとより四九期会は、五年ごとに郷里で開催(既に三回)し、上田においては、松尾二〇日会があって地元で奇数月の二〇日に集って親睦を密に開催し中核となっているところである。関東も従来は二五年前ごろから数年に一回上田関東四九期会を開催して来たところ、松尾二六会としては年に三回親睦会を開催(同期の宮坂君の店で池袋のセントポールの隣)し、上田関東四九期会は年に一回開催することになったものである。

松尾二六会は、会長ら事務局があり、幹事は二〇名と多数の役員を擁し、事業クラブは、ゴルフ、健康、旅行に囲碁クラブとがある。

中でもゴルフクラブのコンペは、年二回開催し、関東一円を転々とし、今年の一〇月二一日に飯能グリーンカントリークラブで開催。来年は五月一九日に多摩カントリークラブを予定(代表幹事森泉君)している。

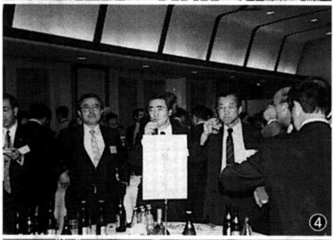
上田関東四九期会の総会は、平成六年一月二八日(金)午後六時から乃木坂の健保会館で開催を予定し予約しているが、少くとも八〇名位は出席するものと予想し、出来れば地元上田からの出席も期待しているところである。

ところで先日一一月五日に発足した「上田の明日を語る会」において、上田市長選に出馬表明した竹下悦男氏(52期)を後援することになったことにつけ、四九期の有志も協力すべく呼びかけていきたいと考えている。

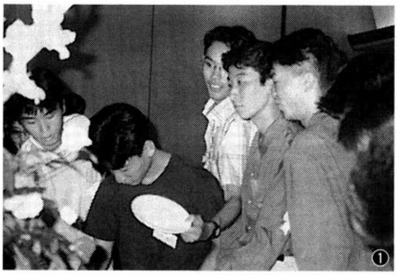
(小口芳彦記)

グラフ 32回総会　若さも熟年も

③


④

⑤


①

②

人、人に会い…

今年も信州弁の夕べは盛会だった。期ごとのテーブルで、あるいは、中央のメイン・テーブルで、懐かしい顔と美酒を酌み交わす。話はいつしか、十年前、二十年前の昔へ、そして上田のことへ…(写真③~⑤)。

そんな中、今年4月に母校を巣立ち、晴れて〝東京の大学生〟となった91期生たちも現れて、再会を祝しあった。いずれは、関東同窓会を背負って立つ〝金の卵〟たちだ(①)。

写真②。特別ゲストの優雅な舞を披露するのは、染谷丘OG大林地恵子さん。

うえだ50号に寄せて

25年、よく続いた

浅野　恭平（37期）

春秋二回の発行だから五十号といえば二十五年になる。「会報は続けてこそ意味がある」というのが矢島五郎先輩の持論だったが、よく続いたものと思う。

記憶が定かでないが、十七、八号あたりから四十号前後まで編集と発送を担当した。原稿の集りに気をもみながらも楽しい仕事だった。この間、編集メンバーは固定しており、その結束と親睦は仕事を離れた今も変わりなく続いている。

思い出は数えきれない。とくに今は亡き花岡先輩のことが忘れられない。創刊以来の最高責任者で、率先垂範と温情の人だった。新橋の新光印刷のほこりっぽい工場で一日がかりの校正、大組みを終えた夕刻、刷り出しを待つ間矢島先輩ゆかりの小さな飲み屋でビールで一息入れるのがみんなの習わしだった。そんなとき、後輩のわれわれを心からねぎらい、工場へ走って刷り出しを貰ってきてくれるのはいつも花岡さんだった。

思わぬ病にたおれ、死期せまる病院のベッドで、私が届けた第三十号の刷り上がりを嬉しそうに受け取り、インクの香りにニッコリしてくれた。

「ご苦労さん、ありがとう」

声は細くかすれていた。

あれから十年たつ。五十号を迎えてなお盛んな会報をいちばん喜んでいる一人は花岡さんに違いない。続けてくれた若い編集の諸君に心から感謝を捧げ、いよいよのご健闘を祈る。

会報は心の通いあう広場

清水　幾男（38期）

某年某月某日、発端は矢島五郎先輩の会社矢島鋳工で開かれた集まりでした。その席で会報編集の相談が行われました。たまたま小生も出席していたのですが、今までの会報を拝見すると、いかにも素人っぽく自動車の運転免許の〝若葉マーク〟を思わせるような出来栄えでした。

その会議の中で矢島先輩から「お前は新聞社関係だそうだが編集を手伝え」と云われ手をつけたのが運の尽き、永いこと編集に従事しました。当時の編集委員長は35期の故花岡脩先輩。印刷所は新橋の新光印刷でした。

久しく忘れていたインクの臭いをかぎ、手を黒くして大組をしました。今はこんなような手を汚す編集はしていませんね。原稿整理、入稿、大組、校正、降版、印刷という作業の合間に応援の同窓生と語り合うのも大変楽しいひと時でした。

会報〝うえだ〟も既に50号を数えるまでに成長したのですね。もう若葉マークなんて言いません。小生もこの会報は、あの古城の門をくぐった同窓生の「心の通いあう広場」だと考えていましたが、これは今でも一貫して貫かれているように思われます。

また会報会計の独立採算という立場から、広告を各期毎に割当てて募集するという方式を樹立した36期の伊藤稔寿郎さんの功績は実に大きいと思います。

他の僚友校をみても〝うえだ〟のような充実したものはありません。現役の皆さんの大活躍を祈っています。

集まろう、走ろう!!

バスケット・ボールＯＢ会

①定時総会　平成６年１月２日　於上田
②四校定期戦　〃　６年２月11日(祭日)ＡＭ９時より
於　代々木第２体育館

会長	柳沢照生(52)
副会長(関東支部長)	三浦嘉治(47)
〃	青山俊光(53)
〃	田辺昭夫(57)
〃　(事務局担当)	飯島俊勝(61)
幹事長	荒井邦夫(61)

堀内会計事務所

税理士　**堀内茂雄**

〒130〈住所〉墨田区業平４－９－３
〈電話〉03－3625－2291

PLAZA UEDA

上中二五期は戸倉で

平成五年十月二十日、戸倉三、荒井重雄、中曽根俊雄。（馬場長市記）

倉温泉温泉旧鳥園にて八十五才記念同期会と銘をうって開催。昨年来五名の昇天となり、残存者三五名。予てより名以上集まれば大成功と考えていたが、将に予想に違わず十名の会合となった。実は十一名の予定であったが、当日となり蟲憲二から電話で、急に行けぬ旨連絡あり、十名となった次第である。

欠席者の近況報告によれば体調の不良原因はとんど足腰筋の具合によるとのい、好プレイ、珍プレイを進に如何に重大が痛認された。来年は何人集まるか不明であるが、米寿を迎える正彦君であった。

ゴルフ終了後、所用で同期会に不参加者も数名いたが、それを上回る者が新たに加わり、30名の盛会になった。遠方からは、佐藤雄君（法務省高松矯正管区長）が四国から駆け参じ、北沢仁、宮本三重郎、宮脇保雄、宮島武雄、保坂富男、俊雄。（馬場長市記）

磯部温泉で52期会

ゴルフと懇親会、上田の近況報告も

今年の同期会は、十月二十日（土）上田との中間である磯部温泉のホテル磯部で開催した。

当日は、六時からの朝食に先立って、富岡カントリークラブでコンペを行い、27名が参加した。好義山を見ながら、コースでは遭遇のない冗談や毒舌が飛び交う事、足腰筋の健全が健康増楽しんだ。優勝は水出康雄君で、ベストグロスは白井正彦君であった。

ゴルフ終了後、所用で同期会に不参加者も数名いたが、それを上回る者が新たに加わり、30名の盛会になった。遠方からは、佐藤雄君（法務省高松矯正管区長）が四国から駆け参じ、北沢仁、宮本三重郎、宮脇保雄、宮島武雄、保坂富男、俊雄。（馬場長市記）

今年の同期会は、十月二十日（土）上田との中間である磯部温泉のホテル磯部で開催した。

当日は、六時からの朝食に先立って、富岡カントリークラブでコンペを行い、27名が参加した。好義山を見ながら、コースでは遭遇のない冗談や毒舌が飛び交う事、足腰筋の健全が健康増楽しんだ。優勝は水出康雄君で、ベストグロスは白井正彦君であった。

ゴルフ終了後、所用で同期会に不参加者も数名いたが、それを上回る者が新たに加わり、30名の盛会になった。遠方からは、佐藤雄君（法務省高松矯正管区長）が四国から駆け参じ、北沢仁、宮本三重郎、宮脇保雄、宮島武雄、保坂富男、俊雄。（馬場長市記）

本部総会を担当、引き続いて同期会

53期

九月十八日（土）上田市農協会館に於て本部総会が開催された（別掲）。

在郷の53期が、実行委員長笠原一洋を中心に責任幹事として総会を主催、久保田泰雄（元BBCアナ）の名司会により厳粛に会を進めた。さて、懇親パーティーに入っての圧巻は、53期全員参加のショー「たにし殿」であった。コーラスの伴奏がなぜか長尾勇男の三味線組三十五名の大コンベが開かれ、かつてのドンナ達とというのもおしいが、自飯島房子、川村千子も参加した。天候に恵まれ遠く北の章創存在である保坂憲男氏（48期）の受賞を祝う数分で終った。その後は、飯山市長の小山邦武君が、自分の出馬しかった際、竹下君の強い支援があったので、返礼させてもらいたいとの申し出がなされた。出席者が今後の支援をアピール、政治向きの話はなった。（土屋佳和記）

それを受け、飯山市長の小席を交換しながら二段と盛山邦武君が、自分の出馬しかった際、竹下君の強い支援があったので、返礼させてもらいたいとの申し出がなされた。出席者が今後の支援をアピール、政治向きの話はなった。（土屋佳和記）

上山田・清風園に移行し、二クラス単位のクラス会が開催された。小一時間もすると部屋間の交流が始まり、廊下を含めての同期会となり盛り上がること、恩師詹沢氏、栗本宗男両先生を交えての夜はなかなか更けなかった。

翌日は新装なった浅間高今年15年目。四校選出の運営委員に依り、女性チーム、超OBチームなど結成。上田、長野、清陵、深志の四校対戦を東京で実施第一回目は昭和54年で、上田市面での活躍を期待されている。

次にOB会の年行事は次の通り。

(1)正月3日定時総会、場所は上田の同窓会館で、学生を含めて交流試合、懇親会など。

(2)現役とは毎月一回高校体育館で定期戦。

(3)年一回四校対抗戦。……

これらのOB会は、現役チームの強化に尽くされた功績と偉然に対し、県スポーツの最高賞である一長野県スポーツ振興有功章」が贈られたものである。

保坂氏は教職の傍ら、県バスケット審判長、理事長等の要職を歴任し、本年3月退職している。

さて、我がバスケット部は、戦後間もない昭和23年に誕生。約半世紀と経ておかり、この間多くの名生がスポーツに打ち込み、日本代表チームのメンバーに送れるなど、名選手を数多く輩出している。

最近の日本リーグ一部では、アンフィニー東京チーム（83期）、大日本印刷チームの小林君（同）等が現役で活躍している。特に田君は、雑誌バスケットでも個人特集記事になるなど、全国的に有名である。

今年は、郷里東部町に帰り、上田市面での活躍を期待されている。

次にOB会の年行事は次の通り。

(1)正月3日定時総会、場所は上田の同窓会館で、学生を含めて交流試合、懇親会など。

(2)現役とは毎月一回高校体育館で定期戦。

(3)年一回四校対抗戦。……

これらのOB会は、現役チームの強化に尽くされた功績と偉然に対し、県スポーツの最高賞である一長野県スポーツ振興有功章」が贈られたものである。

保坂氏は教職の傍ら、県バスケット審判長、理事長等の要職を歴任し、本年3月退職している。

さて、我がバスケット部は、戦後間もない昭和23年に誕生。約半世紀と経ておかり、この間多くの名生がスポーツに打ち込み、日本代表チームのメンバーに送れるなど、名選手を数多く輩出している。

最近の日本リーグ一部では、アンフィニー東京チーム（83期）、大日本印刷チームの小林君（同）等が現役で活躍している。特に田君は、雑誌バスケットでも個人特集記事になるなど、全国的に有名である。

保坂憲男氏（48期）県スポーツ賞受賞

バスケ部

平成5年7月10日、上田市飯島房子、川村千子も参加した。天候に恵まれ遠く北アルプス、八ヶ岳も望まれ一日楽しくプレーした。友好裏し順位はつけぬと言いながら、横浜から参加の中沢哲がたもやスグロスに輝き一同の拍手のみの栄誉に被一笑、めでたく終了した。

なお、このとこ53期は同期会っていおり、参加者も毎回百名前後と盛大だ。二年後には卒業40周年を迎えるため、再び東京またはの声が上がっている。今年に不参加の諸兄にはぜひ次回から参加していただきたいものである。

（須田忠久記）

同窓生登場

日本農業の舵取役

全国農業協同組合連合会代表理事専務　青木　喜久弥氏（49期）

全中（全国農業組合中央会）とともに、日本の農業の振興にあたる全農の舵取りにあたる全農のリーダー。連日、日本の将来を左右る重大問題に取り組んでいないながら、語り口はあくまで柔らかく人をそらさない。

この方たり、まこれもな業県の船橋市に住む。

上田の同窓である。南小学校から上田中学へ。この頃かすでに〝横暴は二葉より芳し〟父親の勤務の関係で、長野市に転居するも、片道一時間かけて毎日上田へ。後に東京大学へ進むが、たまたま校長が家に近く、道などで会っては親しくの薫陶を受けたことも。

激務のため、同窓会活動までは手が廻らなかったが同期生の評によれば〝実に面倒見がいい〟荻原幹事長と同期ナイス。

らが上田の同窓である。南小学校から上田中学へ。この頃かすでに〝横暴は二葉より芳し〟父親の勤務の関係で、長野市に転居するも、片道一時間かけて毎日上田へ。後に東京大学へ進むが、たまたま校長が家に近く、道などで会っては親しくの薫陶を受けたことも。

激務のため、同窓会活動までは手が廻らなかったが同期生の評によれば〝実に面倒見がいい〟荻原幹事長と同期ナイス。

六文会誕生す

数年前に上田高校の同窓の荒井信明（51期）君よりの依頼で、同級の六川博輔君が府中カントリークラブに入会しないとの声で、私が推薦人になって、府中メンバーとなった。従って三人でプレーする事が再三あり、上田井を交え、楽しい一日を過ごす事が時々あって今日に至っている。特に田君は、雑誌バスケットでも個人特集記事になるなど、全国的に有名である。

数年前に上田高校の同窓の荒井信明（51期）君よりの依頼で、同級の六川博輔君が府中カントリークラブに入会しないとの声で、私が推薦人になって、府中メンバーとなった。従って三人でプレーする事が再三あり、上田井を交え、楽しい一日を過ごす事が時々あって今日に至っている。特に田君は、雑誌バスケットでも個人特集記事になるなど、全国的に有名である。

杯む、談ました主真田幸村の六銭に及び、今後六文会という事でプレーよはいかとの話しは異議なく成立し、六文会の誕生となった次第である。写真は当日イン10番で撮った写真が、六文会の誕生記念となった。

当日の六文会メンバーは左の四名で、平均年令六八、五才となる。

馬場長市　二五期八十五才
小木曽学　三九期七十二才
荒井信明　五一期五十九才
六川博輔　五二期五十九才

（馬場長市記）

上から、25期同期会、53期「たにし殿」、バスケ部・保坂氏（48期）、六文会メンバー。

永年のキャリア、信用と誠実第一。
旅のことならなんでもお気軽にお問合せ下さい。

〈株〉トラベル・アイ
代表取締役　秋田　勇（62期）
渋谷区東3-17-11-301
TEL(03)3422-4388㈹

〈海外旅行〉各種パッケージツアーの販売
割引航空券・ツアー販売（世界各地）
団体企画
〈国内旅行〉各種宿泊・ホテル
貸切観光バス手配
国際旅館・ホテル
民宿手配

公認会計士
税理士　小林郷司（40期）

公認会計士・税理士
小林郷司事務所
〒101 東京都千代田区神田鍛冶町3丁目3番地
共同ビル新千代田5階
TEL（3252）8801～3番
FAX（3252）8804番

年会費納入者のお名前

平成五年四月一日～十二月九日、氏名の下の数字は納入年度（平成）

四月一日～十二月九日
【23期】1名 渡辺武彦5
【26期】1名 西沢信7
【28期】4名 小山陽太郎6 田中五郎6 坂井実雄7 吉田為雄6
【29期】4名 六川善一5 武藤矩靖5 岩下美千穂19 森四郎3
【31期】3名 矢島五郎5 土屋学10 寺田直5
【32期】9名 清水信4 中村礼三7 池島雄三5 林重夫6 宮崎光邦5 土屋勉5 水野利男13 渡辺綱男5 田中柳一5
【33期】4名 北沢茂5 朝日仁一7 森五郎6 中沢亮太8
【34期】5名 佐藤芳寿6 工藤善正6 神田精夫10 土屋信夫7 真峯秀雄4
【35期】5名 柳沢義房5 石倉謙一8 清水彰6 神津勝時5 関輝雄7
【36期】8名 韮沢嘉雄5 武捨久男7 掛川重義6 高遠弥六5 清水谷孝尚7 山本五助6 松野正8 小宮山鐵雄5
【37期】8名 関邦雄6 原田安雄6 小山敏雄6 岩田茂樹5 大塚次郎6 永田末吉10 八田秀17
【38期】3名 宮原敦5 清水幾男7 小林三郎7
【39期】6名 小木曽学5 菊地博8 牧内正志5 長藤勝6 永田幹夫8 阿部博7
【40期】8名 小林郷司5 児玉安彦6 丸山英一17 柳沢喜三郎5 荻原竜夫4 大塚今朝信5 森山博司8 小出等5
【41期】5名 清水栄一10 長谷芳樹5 金沢光男7 高橋一行5 松崎五郎6
【42期】9名 小林孝雄7 岩下実8 折田義雄12 宮坂民樹5 六川英夫7 真山勝美5 橋本英典10 小山成安5 池内公11
【43期】10名 向山光男5 小山栄治5 梅田実6 両沢卓蔵9 小笠原義道6 小山弘平2 平林直5 清水雅夫12 松園裕5 田中重樹6
【44－5期】8名 城戸道夫3 大塚寿13 中島和夫8 荻原理宏7 篠原保5 石井克己5 土屋孝5 柳沢廣6
【44－4】9名 金子健7 黒岩喜四郎5 星野賢造5 成田澄男5 須田公三9 山極栄司5 児玉志郎9 竹内秀彦13 土肥幹夫5
【45期】1名 森茂13
【46期】5名 神林常視7 清水巻郎7 田中宏幸6 丸山浩一6 吉村賢治8
【47期】10名 上野平八郎6 柄澤和彦11 牧内操7 笹井博11 小山邦朋6 馬場善一5 田守正雄9 水野純9 山岸五郎8 田沢徹6
【48期】35名 中沢利雄5 小川光敏5 竹内恵三3 清水卓7 村上信三5 相田俊一5 清水貞吾6 小木曽誠5 畠山寛5 田原敬5 倉嶋保夫5 堀内惇6 入山一徳5 柳沢健6 臼田誠人6 花岡正人5 唐沢俊夫5 中澤清男6 吉村功4 土屋亮14 荻原達夫5 松本守弘6 川上道輔5 井出洋二郎5 清水雄司6 大角栄一6 西沢昇5 浦田光雄8 三浦幸雄5 柿崎真吾7 依田好永5 宮沢英人5 高柳直樹6 寺沢明3 岩井昭廣8
【49期】27名 宮坂啓象5 小林斎之介3 堀内寅次4 土屋正5 花岡潔6 山岸光臣8 田村和男3 龍岡櫻5 永島啓二5 宮坂亨5 滝沢茂夫6 宮坂博9 小澤泰衛5 久保利夫6 北沢昌永10 藤原実3 前田芳造6 滝沢朗5 新井通夫2 小口芳彦6 小林喜六6 尾和彰5 雨池昇6 竹重信幸6 清水茂雄5 武井春雄6 山岸万亀男7
【50期】22名 新堀英行5 荻原賢司6 宮下芳雄6 小宮山勇9 久保長行5 塚田満9 花岡巌14 武重秀雄5 小山洋之介12 茅野忠重9 大塚文芳5 宮原省三9 甕滋9 児玉三郎5 小林祐二9 石井一郎9 児玉忠雄6 秋山忠利6 金井忠雄11 柳沢正人9 上原健一5 井出藤寿5
【51期】14名 村田寛6 飯塚寿6 保坂利勝6 有賀秀雄8 田村忠男6 青島昭久7 市川慶伍9 望月伸泰9 山邉俊一5 西沢毅6 中沢良行6 荒井一男5 臼田稔6 中曽根聡8
【52期】21名 上原佳和5 浜野しめ8 池田松子8 青木功10 甲田廣行9 松崎義一6 柳沢孝12 掛川正司5 関正利6 伊藤祐幸6 川嶋慎6 赤池孝之9 小林孝典10 森浩一6 藤井清彦6 宮島廣人7 小林岩夫7 柳沢孝宣11 池内修9 小林俊憲5 土屋寛貢8
【53期】14名 須田武久5 若林清和6 高木快雄10 池田民雄6 高野政晴5 大塚昌宏7 川村作子9 大塚教夫6 井上真人11 山岸一夫9 馬場正彦9 芹沢袈裟三5 柳沢浩二4 甲田育也8
【54期】11名 後藤人三13 宮島博7 竹花正章7 松尾誠5 中村一彦6 横沢武典7 千村一平6 山崎茂幸5 滝沢英統5 横関雅徳5 峰村正偲5
【55期】4名 鶴見貞夫9 毛利義範6 内堀真通彦9 有賀文昭4
【56期】14名 神津進10 笠原征夫6 瀬下正利15 内海章緒6 久保田修5 上原清治5 若林克寿9 笹沢政道9 翠川和彦6 長崎哲夫5 前島健二6 柳沢安信6 平尾充雄7 小林英郷8
【57期】9名 横沢武久11 杉原弘一5 前田由美子6 戸塚英雄5 野田晃弘6 山崎紀典7 高木佳年8 武井義親16 竹内昭8
【58期】8名 中島勇司5 柳沢義孝5 沢田紀男5 宮本忠昭13 久保田達夫8 滝沢一彦6 小林慶三7 手塚洋兵5
【59期】3名 石塚洋一6 山口元彦5 柴田武彦6
【60期】1名 青柳偕行6
【61期】5名 井上希代子8 高橋宗雄5 宮沢達士8 堀内寿美18 笠井徳爾8
【62期】6名 秋田勇9 桑田博章5 浅井保雄5 中野敬三7 正村真治5 中村房子8
【64期】2名 内川栄久5 馬場四郎5
【65期】1名 沢井繁男5
【66期】1名 清水通男9
【67期】2名 龍野秀雄5 岩崎章4
【68期】2名 宮川俊晴5 櫻井啓一5
【69期】3名 尾立孝司5 塚田成夫5 田中博5
【73期】1名 須田博5
【74期】1名 芦田健一5
【79期】1名 根津輝美子5

◆運営基金拠金者のお名前

前号発表分以降各期順

平成5年4月～9月、計一〇名

29期	武藤矩靖	一万円
32期	石井満明	一万円
40期	小林郷司	五万円
48期	春原 寛	一万円
49期	小澤泰衛	一万円
51期	中曽根聡	一万円
53期	高木快雄	三万円
54期	後藤人三	三万円
56期	小林英郷	一万円
66期	清水通男	一万円

累計六八八万円

ふるさと FOCUS

「いざ、出陣、ものども、われに続け」――号令をかける幸村のまわりに控えるは、猿飛佐助、三好清海入道以下、一〇人の勇士……ご存じ、真田十勇士を焼き付けたプレートが並ぶ遊歩道が誕生しました。

上田城址（公園）に入る橋のすぐ右手、堀に下る小道が設けられているところです。帰郷の際にご高覧の程を。

事務局日誌

▼5月30日　上田染谷丘高校同窓会総会。於モノリス29。横山会長、山崎、小木曽副会長が出席。

▼6月1日　会報49号校正。山崎、小木曽副会長、馬場幹事長、小林（60期）。新橋にて。

▼6月12日　健保会館で総会実行委員会。26名出席。役割分担を決める。

▼6月29日　如水会館で総会の打合せ。韮沢監事、山崎、小木曽副会長、馬場幹事長、宮岡支配人と。

▼7月2日　総会の打合せ。於飯田橋。横山会長、山崎、小木曽副会長、49期の堀内、花岡、大石の各氏。

▼7月5日　相談役会。於半蔵門会館。午後6時より。大森、坂井、矢島、小林、柳沢の各相談役と横山会長、山崎、小木曽副会長、堀内・高木会計長、馬場幹事長。会務報告と32回総会についての打合せ。

▼7月8日　東信同窓連総会。6時より。於健保会館。坂井、矢島相談役、横山会長、山崎副会長。

▼7月9日　第32回総会。如水会館。5時～総会、6～8時、懇親会。金子理事長、藤沢学校長はじめ来賓多数、新卒者会員で二五〇名の盛会。

▼7月17日　県同窓連総会。坂井、矢島、横山相談役、山崎会長。

▼7月26日　会計の引き継ぎ。堀内、高木新会計長、横山、山崎新旧会長。

▼7月31日　総会実行委員会反省会。於半蔵門会館。3時～5時半。

▼9月11日　県同窓連「ふるさと交流の集い」。松本勤労福祉センター。横山相談役、山崎会長。

▼9月18日　本部会員大会。上田市農協会館。山崎会長、小木曽、甕、池田各副会長、高木会計長。

▼10月13日　会報フォーラム、幹事長人事について、山崎会長、小木曽副会長打合せ。

▼10月30日　会報フォーラム。飯田橋。2時～。50号の編集会議も。

▼11月10日　野沢南高校総会。東京ガーデンパレス。山崎会長、小木曽副会長とともに、荻原 賢（49期）新幹事長が出席。

▼11月20日　上田千曲高校同窓会関東支部総会。於健保会館。横山相談役、山崎会長、甕副会長。

沢木敬郎君（47期）

平成五年九月二十日、わが47期の沢木敬郎君が心不全で他界した。彼は、立教大学法学部創設以来、助教授七年、教授二十八年、通算三十五年間教鞭をとり、その間法学部長も二度勤めた。また東京家庭裁判所の調停委員としても三十年間にわたって活躍、平成三年には最高裁長官賞を受賞している。その他、司法試験委員、ラテンアメリカ研究所長、数多くの企業団体の顧問をつとめていたが、ここ数年、がんにおかされ、闘病生活を続けていた。

沢木教授のあまりに若き死は、惜しみて余りあり、誰とでも親しく話し合っていたあの温厚な笑顔は忘れることが出来ない。心からご冥福を祈る。

（三井芳郎）

編集後記

▼会報50号をお届けする。年二回発行としてざっと二十五年、四半世紀。〝いわゆる一つの〝歴史だ〟▼2面、浅野、清水両先輩の寄稿にもあるが、この間会報編集に係わった人も数知れない。なかでも、〝うえだ〟の屋台骨を築き上げた同窓人として、矢島五郎（31期）、中村礼三（32期）、柳澤健（48期）、村田寛（51期）四氏の名を付け加えておきたい▼さらに言えば、新聞作成の現場も一変している。活字を一本一本拾い上げての「組み版」を横目に、工場（こうば、と読みます）内を行き来して校了にこぎつけた校正作業も、いまはそのほとんどをファックスと電話を使って済ますことができる。木造り二階建てだった印刷会社もぴかぴかのインテリジェントビルに変わった。まさに隔世の感▼このような経緯、伝統を踏まえて、先頃会報フォーラムが開かれた。新体制になってから一回目の〝編集会議〟である。このフォーラム、これからも機会あるごとに開いていく。積極的な参加、協力をお願いしておきたい▼編集割付担当の当方の不手際で年末ぎりぎりの発送となった。記してお詫びするとともに、ぜひよいお年を迎えられんことを（小林）。

会報㊗第50号

49期有志一同

芦田純　雨池昇　池内正英　飯島弘行　出井昭　一之瀬恒雄　出沢秀典　出野勝巳　上野貞夫　上野秀和
榎本秀雄　岡田信太郎　岡田暉夫　小原恒夫　川本豊　北沢昌永　小泉孝雄　小林斉之助　小林恒雄
清水茂雄　鈴木武夫　関根伸一　竹内好文　田中信二　田中幹夫　田丸勝彦　鶴見愼一郎　橋詰直人
花岡菖　原行明　藤原実（旧姓矢島）　松本初男　前田芳造　宮坂博　山岸志郎　山岸万亀男　依田郁男　四方光